

子ども手当
青森県負担

3分の1なら年200億円

児童手当の7倍と試算

青森県は3日の県議会総務企画常任委員会で、鳩山政権が目指す子ども手当の創設により、県負担が現行の児童手当と同じ3分の1になった場合、年間約200億円の負担が込まれ、現行の児童手当案が出てくる」と県会総務企画常任委員会で、鳩山政権が目指す子ども手当の創設により、県負担が現行の児童手当と同じ3分の1になった場合、年間約200億円の負担が

伊吹信一副委員長は現行の児童手当の県（公明・健政）が「子ども手当は当初、国が面倒を見ると言っていたが、財務省から地方負担になれば、財政負担が急増するとの見通しを説明。

伊吹副委員長は「県財政の健全化は、県民に対する責任だ。子ども手当は1年や2年の話ではない」と県の立場を明確に打ち出していくよう求めた。